

まねき食品株式会社

製造業

事業所概要

所在地：姫路市北条 953

代表者：竹田 典高

従業員：690 名

事業紹介

当社は、明治 21 年創業の日本で初めて幕の内弁当を扱った食品製造販売会社です。現在、「えきそば」や各種お弁当などで、広くみなさまにご愛顧を賜っています。食材や弁当容器など「食」を通じて、地球環境や地域社会に貢献してまいります。

◆プラスチック容器に替わり、環境にやさしい容器の使用を促進

◆プロトン凍結技術を採用して、冷凍弁当開発と食品ロスを削減

取組内容

きっかけは、2019 年「G20 大阪・サミット」から

当社が SDGs に取り組むことになったのは、2019 年の大阪サミットで提供する弁当の依頼を受けたのがきっかけです。食材にこだわったほか、プラスチックに替わり環境にやさしい木製容器を使用した「SDGs 弁当」を提案したところ、これが採用されて好評でした。このことから SDGs 目線で事業に取り組んでいくようになりました。

コロナ禍に、冷凍弁当を発案

新型コロナの影響で行動制限が求められていた時、「ハレの日」に賞味いただくことが多い当社の弁当売上は低迷しました。そこで、新商品開発のため数十種類の試作弁当を試食しましたが、一度に食べ切れる量ではなく、瞬間冷凍にして数日にわたり試食したところ解凍した弁当が意外と美味しいことに気付いたのです。最新の冷凍技術を活用した冷凍弁当を開発し、海外にも販路が広がりました。また、このプロトン冷凍技術により、消費期限等の研究もしながら半製品や食材の保管にも活用し、食品ロス削減につながりました。

※プロトン冷凍技術：温度の低下だけでなく「電磁波」や「磁石の力」を用いて、食品・食材の鮮度風味を損わず冷凍する技術



脱プラスチック容器を使用



希望をつなぐ SDGs 弁当



全国旅気分

メッセージ

※事業所概要や掲載内容は取材当時のものです

SDGs ってそんなにハードルは高くはないと思います。普段の業務活動の中に、SDGs につながるヒントがあると考えます。少しの工夫や気付きが、ビジネスチャンスを広げてくれると思います。